

小山 伝一郎	湖南町区長会長
佐藤 忠男	湖南公民館長
石田 慶仁	学校評議員
大内 紀男	ぐるっと湖南伝承会会長
満田 仁一	湖南地域総合振興促進協議会長
鈴木 勝美	湖南高等学校PTA会長
桑名 秀一郎	湖南高等学校同窓会長
和田 祐樹	NPO法人ホールアース研究所福島校代表
薄 良枝	会津乗合自動車郡山湖南営業所長
阿部 洋平	湖南小中学校PTA会長
富田 弘	湖南行政センター長
酒井 祐治	湖南高等学校長

地域と連携を深め、学校運営に貢献

湖南高校だより

校訓
勉明同
勤聡協
実高律
誠志自

『蕎麦プロジェクト』始動

本校は、今年度より学校運営や学校の課題解決に、広く保護者や地域住民の方々に参加していただく学校運営協議会制度を採用する『コミュニティ・スクール』となりました。これまで二度にわたって開催された協議会の中で、地域と学校が連携し、農産物の六次化による「湖南ブランド」を創設しようとの提案が出されました。そこで、湖南町特産の蕎麦が、時期的にも知名度としても最適ではないか、と委員の方々の意見がまとまりました。

【第一回】 当学校運営協議会

五月十三日（水）に、「コミュニティ・スクール」の中心メンバーとなる、委員の委嘱状交付式が行われました。その後委員の互選で湖南町行政長を歴任された小山伝一郎氏が会長に、満田仁一氏が副会長に選出されました。続いて開かれた第1回学校運営協議会では、酒井校長より今年度の「学校経営・運営ビジョン」についての説明があり、それを受け「開かれた学校づくり」のための意見交換が行われ、建設的で魅力的な提案をたくさん頂戴することができました。



コロナ対策で座席間の距離をとりましたが濃密な議論になりました

【第二回】 当学校運営協議会

六月三日（水）には、コミュニティ・スクールのマイスターの安齋宏之先生（本宮市立まゆみ小学校長）をお招きし、「コミュニティ・スクールを活用した地域協働の学校づくり」についてご講演をいただき、地域との連携のあり方に関して理解を深めました。続いて開かれた第二回学校運営協

議会では、①保護者や地域の方々との経験を学校の教育活動に活かす「湖南エール隊」の組織、②学校行事や地域主催イベントにおける連携のあり方、③湖南町の地域振興に貢献する特産品の六次化を目指す「湖南ブランド」の創設、など3つのテーマについて熟議を行いました。その結果、「湖南ブランド」が『蕎麦プロジェクト』として動き出すことになりました。地元湖南町産そばのブランド化の第一歩として、全校生徒でそばを栽培し、いずれば、そばのオリジナルレシピを開発し、その商品化によって六次化を図ろうというものです。そのための農地は、「湖南エール隊」を通して近隣の方からお借りできることになりました。委員の方に相談してから農地が決まるまでの早さには、ただただ驚くばかりです。本当に地域をより深くおいしく味わうことができました。

『蕎麦プロジェクト』

六月十二日（金）、湖南町でそば栽培をしている桑名秀一郎さん（学校運営協議会委員・同窓会長・中野生産組合代表）と、阿部敏満さん（福良地区の認定農業者）の二人から、畑の耕し方や種のまき方、収穫方法など、そば栽培のためのアドバイスを現地で行いました。



学校から徒歩5分の最高の立地です

六月十七日（水）、阿部さんに『蕎麦プロジェクト』の畑を耕耘機で耕起していただきました。畑は草が生い茂り、表土がごぼこりになっていました。そばの作付けや、玄そばの状態を別・脱皮・石臼挽き等によって製粉する作業過程について学ぶとともに、自分たちで打ったそばを食べてみることで、そばをより深くおいしく味わうことができました。

六月二十日（土）、本校職員を対象に「『蕎麦プロジェクト』のための研修会」を行いました。この研修会は、桑名さんを中心に、同窓会役員の皆様にご協力いただき実現しました。そばの作付けや、玄そばの状態を別・脱皮・石臼挽き等によって製粉する作業過程について学ぶとともに、自分たちで打ったそばを食べてみることで、そばをより深くおいしく味わうことができました。



次は生徒の皆さんの出番です！

地域に根ざした行事がいっぱい

春の遠足

六月五日（金）、春の恒例行事、猪苗代湖東岸館浜までの往復約十五キロを完歩する「春の遠足」が実施されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、キャンプ場利用の自粛が求められていたのですが、郡山市観光課と地域住民の方々のご理解により、当日、本校の行事に限って利用を認めていただきました。様々な学校行事が簡略化され、部活動の大会も中止に余儀なくされていただけに、知らせを聞いた三年生の中には歓喜の声をあげる生徒もいました。「コロナの影響でマスク着用でしたが、高校生活最後の遠足を楽しみたいことができました。料理も他のメンバーと協力し、ど



写真の時はマスクを外して撮影「やっぱり空気おいしい〜」

今後のスケジュール

- 七月上旬 施肥
- 七月二十七日（月） 播種
- 八月下旬 生育観察
- 十月五日（月） 収穫
- 十月九日（金） 脱穀
- 十二月上旬 蕎麦打ち
- 一月 レシピ募集
- 二月 試作品の調理実習



アやペゴニアを花壇に、マリーゴールドやサルビアをプランターに植え、規則的に配列しました。これから、各クラスで水やりや除草を継続し、花を育てていきます。美しい花壇が、生徒たちの学校生活に彩りを添えてくれることと思います。

地域マイ探究

六月四日（木）、『地域マイ探究』が開講しました。この講座は、生徒の主体的な学びの育成を目的として、総合的な探究の時間の中で、昨年度、現二年生が取り組んでいた地域課題探究をパワーアップさせたもので、今年度は、『一からカレイライスを作る！』に挑戦します。講師役を務めるホールアース福島和野祐樹さんからテーマが発表されると、生徒は驚きの反応を見せたものの、後半には、学年を問わず協力して考える様子が見られました。

このロゴは、おやの諸機関と共有し、町の振興に活用していただきます。

KONAN

猪苗代湖と磐梯山をモチーフにしたこのロゴは、校内の『湖南町のロゴ』を勝手につくった作品です。今後、湖南町諸機関と共有し、町の振興に活用していただきます。

選手壮行会に代え、選手大会を行いました。大会が中止となつてしまつた三年生運動部員へのせめてものエールです。悔しくて悔しくてたまらないことでした。う。しかし、彼らはその感情を抑え、私達に明るく振る舞おうとするのでした。今、確信しています。これから先、どんな理不尽な境遇にあつても、彼らはそれを持ち越える力を持つています。地域や保護者の方におかれましても、これまで同様、湖南高校生へのエールをお願い致します。（猪苗代子）

3年間の思いの丈を述べる運動部員